

患者サポートセンターだより

Regional alliances and support

2022

67号

特別号

ロボット手術をはじめます。



KKR 札幌医療センター

〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
TEL 011-822-1811(代)

患者サポートセンター

地域連携室 TEL 0120-552-303
FAX 011-832-9624

医療社会事業相談室 TEL 011-832-3260
療養上のご相談を、医療施設・患者さん・ご家族より
お受けしております。

目次

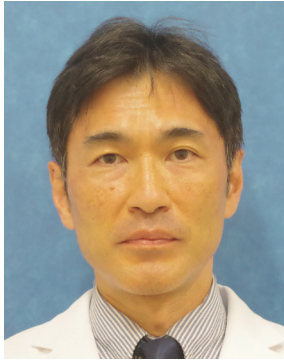
1. 磯部院長ごあいさつ
2. 今診療部次長ごあいさつ
3. 土屋泌尿器科部長ごあいさつ
4. ダヴィンチ
サージカルシステムのご案内



検診・診断から治療・緩和ケアまでの 集学的診療に 新しい仲間が加わりました!

病院長
患者サポートセンター長 磯部 宏

KKR札幌医療センターは地域がん診療連携拠点病院として検診・診断から抗がん剤化学療法、放射線治療、手術療法、そして緩和ケア診療まで、多くの悪性腫瘍の各段階で最新・最良の医療を提供してまいりました。また、放射線治療や手術療法では、多くの良性疾患においても専門的な診療で対応してまいりました。特に手術療法では外科系の各診療科が、腹腔鏡や胸腔鏡などの低侵襲の内視鏡手術を取り入れてまいりましたが、さらに今回、内視鏡手術の手技や経験を生かし、ロボット手術を導入することといたしました。昨年12月に新しい手術室に、インテュイティブサージカル社製の手術支援ロボットの最新鋭機ダヴィンチXi (daVinci Xi SURGICAL SYSTEM) を導入し、現在、外科系医師・麻酔科医・看護師・臨床工学技士等がチームとなり準備を進めております。新年度早々からの運用予定であります。連携医療機関の皆さまにご紹介申し上げるとともに、適応疾患等も含めて各診療科にご相談いただければ幸いです。



ロボット手術の紹介 連携医療機関の皆さまへ

診療部次長
兼 消化器外科部長
兼 血液浄化センター長

今 裕 史

連携医の諸先生方におかれましては時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当院に患者さんをご紹介いただきまして厚く御礼申し上げます。

さて、この度、当院に手術支援ロボット ダヴィンチを導入する運びとなりましたのでお知らせ致します。ダヴィンチは従来の鏡視下手術の低侵襲性に加え、3D画像による優れた視認性や多関節機能による自由な鉗子操作が可能であることからより繊細な手術操作が可能となります。本邦では2012年4月より前立腺がんに対する全摘術手術が保険承認されたことより泌尿器科の分野において急速に導入が進み、消化器外科分野では2018年4月より食道がん、胃がん、直腸がん、へと適応が拡大されてきました。今後、消化器外科手術においてもロボット手術が主流となることが予想されます。

当科では2008年より本格的に腹腔鏡下大腸切除術を導入し現在では約80%の症例で腹腔鏡下切除術を行なっております。今回ダヴィンチ導入にあたり本年4月からまず手始めに直腸がんの手術においてロボット手術を開始し、患者さんにより低侵襲な治療を提供させていただく所存です。つきましては適応となります直腸がんの患者さんをご紹介いただけますと幸いです。

末筆ながら、先生方のますますのご清栄をご祈念申し上げてご挨拶に替えさせていただきます。



ロボット支援腹腔鏡下 根治的前立腺全摘除術の導入

泌尿器科部長 土屋 邦彦

前立腺がんに対する根治手術は、2012年にロボット支援下手術が保険適応になってから急速に普及し、現在は本術式が標準的な手術法となっています。この度、当院でもダヴィンチ手術システムと呼ばれる機器を使用し、今年6月よりロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術を開始いたします。従来の二次元画像による腹腔鏡下手術と異なり、三次元の空間解析を有するため緻密な組織構築を認識でき（3D画像、奥行きがわかる）、また自由度の高い鉗子により微細で正確な操作が出来るようになったため（縫う・糸を縛るといった手技が容易）、より質の高い低侵襲的手術が可能になります。

手術は5～15ミリ径の切開創よりカメラや鉗子類を挿入し、前立腺と精嚢を摘除後に尿道と膀胱を吻合するもので、リンパ節郭清を行う場合と行わない場合があります。手術時間は約3～6時間で、手術後5～6日目に尿道カテーテルを抜去し、数日排尿状態をみて特に問題なければ退院となります。入院期間は約10日間の予定です。

術後にみられる尿失禁は、従来の手術法に比べて回復が早くこの術式の利点の一つといえます。尿失禁改善に役立つ骨盤底筋体操を術前より指導し始めてもらうことで、さらに尿失禁の早い回復を図ります。

今年4月からは新たに腎癌に対するロボット支援腹腔鏡下腎全摘除術が保険適応になることが決まりました。外科や産婦人科など他科の手術もロボット支援下手術の適応が拡大されており、今後ますますロボット支援下手術が増えていくことになると思われます。

da Vinci[®] Xi[™]

SURGICAL SYSTEM

KKR札幌医療センターはこの度、最新の「da Vinci Xi サージカルシステム」を導入いたしました。「da Vinci Xi サージカルシステム」は最先端の手術支援ロボットです。ダヴィンチロボット支援手術で実施される多様な術式をフレキシブルにサポートし、患者さんの負担の少ない低侵襲の術式です。



da Vinci Xi サージカルシステムの特徴

立体的な3D HDの手術画像を医師に提供することで、患者さんの体内を覗き込み、実際に術野に手を入れて操作しているような視野を確保しながら手術を行うことが可能です。医師がロボットアームに装着されている3本のインストゥルメントを操作することで、精緻な手術を行うことができます。



患者さんに優しいMerit

Merit 1 傷口が小さい

Merit 2 術中の出血量が少ない

Merit 3 術後の疼痛が少ない

Merit 4 術後の回復が早い

Merit 5 術後の合併症のリスクが少ない

Merit 6 保険適用の手術が増加

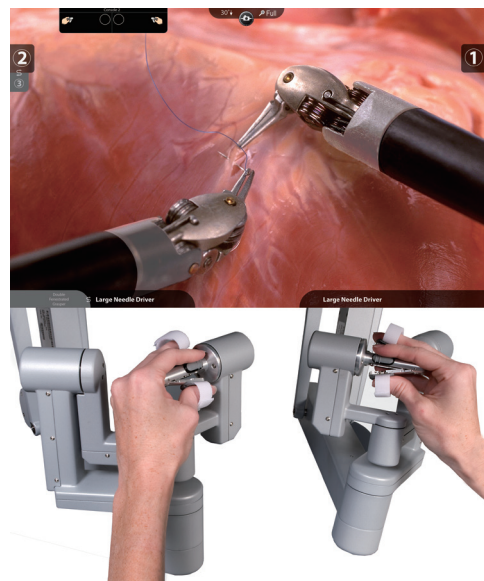


手首を持つインストゥルメントは、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正により、医師は安定した自然な動きで手術を行うことが可能です。

「サージョンコンソール」と呼ばれる操縦席に座り、3D 画像を見ながら手元のコントローラーを操作します。4本のロボットアームにその動きが伝わり、モニターに手術中の画像が映しだされ、手術スタッフも同じ画像が共有されます。



高倍率 3D HD 技術により、医師が覗き込むモニターには立体的な手術部位の拡大画像が鮮明に映し出されます。



KKR札幌医療センターにおける ダヴィンチロボット支援手術の概観

ダヴィンチで行う手術は数か所の小さな切開部から行うため身体への負担が少なく、人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能によって精緻な手術が可能となります。当院では4月より消化器外科における直腸がんロボット手術を手始めに、6月からは泌尿器科における前立腺がんを開始する予定で、後には、様々なロボット支援手術を拡大する予定です。詳細は各担当医師までお問い合わせください。



KKR札幌医療センターでは、低侵襲で高度な安全性を目指してダヴィンチロボット支援手術を行ってまいります。
 地域に根差した総合病院としての役割をこれからも力いっぱい発揮してまいります。

皆様のご支援を宜しくお願いいたします。



 KKR 札幌医療センター